

川越けいじの政治目標

- 子育て支援策の更なる拡充
- 社会福祉の充実した街づくり
- 救命救急体制の整った街づくり
- 犯罪の無い安全な街づくり
- 活力と優しさに満ちた街づくり
- 豊かな心と健全な身体を育む教育



自由民主党 鹿児島市議会議員団
かわごえけいじ
鹿児島市議会議員 川越桂路
〒892-8677 鹿児島市山下町11-1
TEL 216-1435 FAX 222-4771
www.kawagoe-keiji.jp
e-mail : info@kawagoe-keiji.jp

加治屋町1番街区市街地再開発事業など推進

一般会計当初予算過去最高額の2,825億円

令和六年第一回定例会が、二月九日から三月十八日まで、三十九日間の会期で開かれ、一般会計当初予算を始めとする議案を議決いたしましたので、川越けいじがその概要をご報告いたします。

一般会計の当初予算は、約2千825億円と過去最高額となり、子育て支援や地域公共交通手段の再構築などを始めとする本市喫緊の課題を始め、人口減少時代に対応するための積極予算となっております。

以下、新規事業を中心にピックアップしてご説明いたします。

- 「書かない窓口」事業 行政手続き オンライン化 推進事業 (トータル3千5百万円)
- 住民手続き移動等における「書かない窓口」のシステムを本庁・谷山支所と本格運用。各支所にも拡充し市民の負担軽減・利便性向上を図ります。
- また、電子申請フォー

- インバウンド向け 飲食店等受入体制 強化事業 エコノミー推進事業 (トータル1千3百万円)
- 飲食店や宿泊施設等の多言語対応や情報発信の支援を行うとともに、滞在時間延長につながる夜間における観光コンテンツの情報発信に取り組みます。

- 対策事業 (1千7百万円)
- 昨年十月に施行された客引き行為等の禁止に関する条例に基づき、天文館地区において、対策指導員による巡回や指導の



市議会議員 川越けいじ(52)

- 客引き行為等
- 潜在保育士 雇上強化補助金 (4千7百万円)
- 民間保育士等 処遇改善補助金 (3千3百万円)
- 潜在保育士を保育補助者として雇用し、保育士としての段階的な復帰に取り組む保育所等に助成を行うとともに、処遇改善を行う保育所等に対し助成することで、保育士等の確保

- 相乗りタクシー 実証実験事業 (5百万円)
- 夜間の交通手段を確保するためタクシー事業者等と連携し、配車アプリを活用した相乗りタクシー(シェアタクシー)の実証実験を行います。

- 粗大ごみ受付システム オンライン化事業 (2千2百万円)
- 粗大ごみ受付システムを刷新するとともに、Web受付や電子決済サービスを導入し、利便性の更なる向上を図ります。

- スケートボード等 専用施設整備 検討事業 (2百万円)
- 専用施設の整備に向けて基本構想・基本計画の策定等に取り組みます。
- 中心市街地にぎわい 創出支援事業 (1千3百万円)
- 中心市街地の面的な活性化を図るため、商店街等が実施するにぎわい創出イベントに助成します。

- 徹底を行います。
- 加治屋町1番街区市街地再開発事業 (6千2百万円)
- にぎわいとゆとりある都市空間の創出に向けて、事業を推進するための準備組合が行う再開

- 救急需要対策事業 (1千5百万円)
- 増加する救急需要に対応するため、非常用救急自動車の増台による救急体制の強化や、予防救急の推進に取り組みます。

- AIマッチング システム導入事業 (1千4百万円)
- 結婚支援の充実を図るため、マリイサポートかごしまの運営において、オンラインの閲覧およびAIマッチングシステムの導入を行います。
- ワールドステップ ラーニング事業 (1千3百万円)
- 市立三高校において、スタンフォード大学の専任講師による英語のオンライン講座を活用し、グローバルに活躍できる人材を育成します。

「初心」を忘れず
市民の皆様のため
懸命に頑張ります。



鹿児島市議会 議場全景

今期は鹿児島市議会が初となる議員提案による政策条例「鹿児島市客引き行為等の禁止に関する条例」の制定にあたり、議長としてリーダーシップを発揮しスピード感を保持して取り組み、天文館地区の皆さまからご要望を受け約二カ月という短期間で議決までこぎ着け、条例施行を国体開催に間に合わせました。今回の条例は、鹿児島市議会事務局の記録に残る限りでは、議員が提案し制定された政策条例としては、戦後初めてあります。



本会議場で議長として議事を進行

また前任期においては、長年に渡り議論を続けたにも関わらず結論に至っていないかった議員定数に関して、覚悟を持って取り組み、自ら議案を起草し提案説明したうえで、議員定数を五人削減することを実現いたしました。

市政に対するご質問やご相談など
お気軽にお寄せください。

鹿児島市議会議員 川越けいじ

鹿児島市政に対する市民の皆さまからのご質問やご相談を受け付けております。安心安全・教育・子育て・福祉など、どのようなことでも結構です。

TEL 216-1435
FAX 222-4771
e-mail: info@kawagoe-keiji.jp

二十八歳で市民の皆さまの負託を受け、鹿児島市議会へと送っていただいていたから、六期二十四年が過ぎようとしております。

これまで様々な経験を重ね、今期は二期四年間に渡り市議会議長を務め、市民の皆さまの代弁者として、これまで以上に役割に立ってまいりました。私は「単に政治が悪い、政治家が悪い」と批判するだけでは、政治は良くならない。批判するのではなく、自分自身が政界に身を置いて政治を変えよう」という想いで若くして政治の世界に入りました。

この二十四年、議会で議論を交わし、鹿児島市当局とは正常な緊張関係を保ちながら、様々な施策を実現に導いてまいりました。

今期は鹿児島市議会が初となる議員提案による政策条例「鹿児島市客引き行為等の禁止に関する条例」の制定にあたり、議長としてリーダーシップを発揮しスピード感を保持して取り組み、天文館地区の皆さまからご要望を受け約二カ月という短期間で議決までこぎ着け、条例施行を国体開催に間に合わせました。今回の条例は、鹿児島市議会事務局の記録に残る限りでは、議員が提案し制定された政策条例としては、戦後初めてあります。

問題研究所の将来人口推計では、本市の人口は二〇四五年に約51万7千人、二〇五〇年には約49万8千人になると予想されており、少子高齢化が進むことにより、六十五歳以上の人口比率、いわゆる老年人口比率は二〇四〇年において35.4%、二〇六〇年では39.5%との推計がなされており、これが市民の皆さまの意見が市政に反映されるよ

う、三つのワーキンググループを作り、議会改革にも努め、議論を活発化させるための当局側の「反問権」の導入や、タブレット端末によるICT化・ペーパーレス化によるコスト削減などを実現しました。

一方、議員定数が減ったこと、議員の資質向上は直結するものではありませんので、有権者の皆さまは、その候補者が本当に自分たちの代表者として相応しいのか、シビアに見極めをすることも大切なことだと思っております。

自分たちが選んだ人物は議会内でどのような発言をし、どのような考えのもと活動しているのか等、できる範囲で正確な情報を取り、それを基に判断する必要があるのではないのでしょうか。

私自身も、皆さまから更に信頼されるよう、有言実行の初心を忘れることなく、研鑽を積み、議員としての資質を高め、その職責を果たしてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

議員の資質向上のため確かな選択を

当市議会初の議員提案政策条例制定に尽力

までに経験したことのない高齢化に直面することになります。この人口減少を踏まえた場合、今後生産人口の減少による税収の減や、高齢化の進行による社会福祉費の増大など、将来的に財政状況が逼迫することが予想され、議会としても効率的な運営を目指す必要があると判断し、その先頭に立って定数削減を断行した次第です。



議員定数条例改正を提案説明後 囲み取材を受ける川越けいじ(左2人目)

でしよう。

民主主義社会においては、政治は有権者を映す鏡であり、基本的には、有権者の意識以上の政治が執り行われることはありません。

有権者のシビアな選択で政治家の質を高めることによって、政治の質が高まり、延いては政治不信を無くすことにもつながるのではないかと思います。